

新 生

令和元年六月十日印刷
令和元年六月二十日発行



東北新生園入所者自治会

新生第七十一巻第二号

新 生

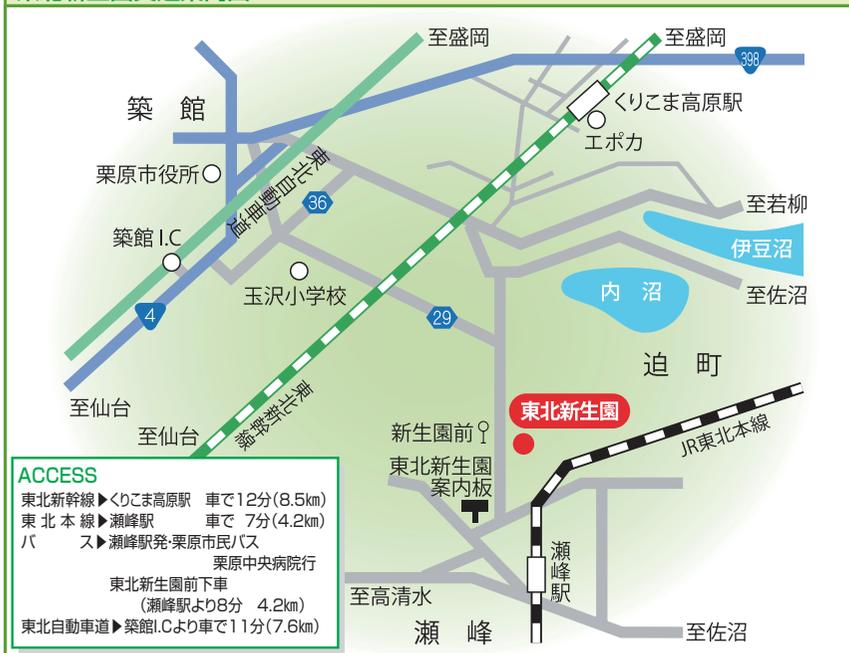
令和元年六月十日印刷
令和元年六月二十日発行

第七十一巻第二号

東北新生園の概況

所在地	宮城県登米市迫町新田字上葉ノ木沢1番地
土地面積	351,291㎡
建物延面積	25,280㎡
開園	昭和14年10月27日
医療法承認病床	244床
標榜診療科	内科、外科、皮膚科、眼科、耳鼻いんこう科、歯科
現在入所者数	男22名 女36名 計58名
職員定員数	152名 (平成31年4月1日現在)
園長	医学博士 横田 隆

東北新生園交通案内図



松島オルゴール館生演奏

— 平成31年4月12日 —



園内日誌

平成三十一年 一月～三月

【謝寄贈図書欄】

平成三十一年 一月～三月 (敬称略)

- 四日 正月行事(抽選会)
 六日 楓会定期改選選挙課(告示)
 楓会定期改選選挙(投票・開票)
- 《二月》
- 七日 作業者旅行(一関・平泉方面)
 二十日 転勤・退職者送別昼食会
 (楓会主催)
- 二十九日 転勤・退職者離任式

始良野	甲田の裾	青松	菊池野	高野	多原	楓磨	岡山県
鹿児島県	青森県	香川県	熊本県	群馬県	東京都	多磨	邑久
星塚	松丘	大島	菊池	栗生	栗生	栗生	全生
敬愛園	保養園	青松園	恵楓園	泉生園	泉生園	泉生園	泉生園

令和元年6月10日 印刷
 令和元年6月20日 発行

発行 東北新生園楓会(自治会)
 編集 楓会文化部
 印刷 川内印刷株式会社

〒989-4601

宮城県登米市迫町新田字上葉ノ木沢一

発行所 東北新生園 電話 0228 (38) 2121(代)
 東北新生園入所者自治会 電話 0228 (38) 3600



新生・第七十一卷第二号……………目次

表紙：「園内観桜会」

自己紹介……………	看護助手・関	史……………(2)
よろしくお願ひします……………	看護助手・鹿野	千賀子……………(4)
よろしくお願ひします……………	看護助手・金澤	ひろみ……………(6)
随筆「雑感」……………	今野	きよし……………(8)

|| 新生文芸 ||

詩……………	選者	佐々木洋一……………(12)
短歌……………	選者	皆川二郎……………(14)
俳句……………	選者	山田桃晃……………(15)
川柳……………	選者	栗石隆子……………(17)
ごあいさつ……………	看護助手	狩野幸子……………(19)
震災を気に……………	看護助手	佐藤次子……………(21)
宜しくお願ひします……………	看護助手	佐竹澄江……………(24)
四コマ漫画……………	看護助手	北村小蝶……………(26)
園内日誌・謝寄贈図書……………		

自己紹介

看護助手 関

史

もう既に、ご存知の方もいらっしゃると思いますが、改めて自己紹介をさせていただきます。平成三十年七月より、病棟で勤務しております介護員です。

新生園で仕事をする以前、介護や医療の経験はありませんでした。その為か、総師長さんや当時の総副師長さんに、介護の資格である初任者研修を受けるよう勧められました。ありがたいお話ではありましたが、仕事をしながらの受講は、家族の理解だけでなく、病棟で働く方々の支えがなければ受講できるものではありません。親身になって受講を優先してくれた病棟の師長さんや、先輩介護員の石川さん、人手が少ない中なのに講習で休み

がちな私の分の業務を熟してくれた病棟の看護師さん達のお陰だと思っております。無事予定の日程を終え試験も合格することができました。仕事を始めたばかりの私が、皆様に支えられ素晴らしい経験ができました。今回取得した資格は、介護職の入口の資格です。

次のステップとしては、実務者研修という資格があります。早めに取得すべきとは思いますが、資金面の事情もあり、来年度、状況が許せば、降雪も落ち着いた頃で予定しております。

次の資格を取りたいと思う動機になったのは、新生園での入所者の方々との出会いがあったからです。個性がそれぞれ違うのは当たり前ですが、共通して優しい方々ばかりでした。一年も経たずにお別れした方も含め、気づかってくれたり、元気づけてくれたり。言葉だけでなく、笑顔や仕草で伝えようとしてくれることは、私の大きな心の支えになっております。正直、居眠りしないで丸一日の座学は苦手ですが、役に立つ範囲が少しでも

広げられたらと思っております。

さて、私は新生園で勤務してから現在まで病棟の食堂にいる事が多く、毎日のように顔を合わせる方もいれば、一度も会ったことのない方もいることでしょう。

住まいは実家である新田で、園から五キロ程の所です。五年程前に両親が立て続けに体調を崩し入院することもあり、仙台に住んでいました。実家に帰ることにしました。実際、仙台の部屋を返却して帰郷してみると、思った程の体調の悪化もなく両親共々生活しております。

実家に帰って始めた事は地元の古武道で柳生心眼流があります。きっかけは、知人がやっていて護身術にもなるからと母親が話題に出したことがあります。十年以上前に、私が空手と鉢合わせした事件があり、今でも心配しての提案でした。武道は興味ありませんでしたが、実家に帰ってからは移動は車がほとんどで、運動しなければと考えていました。軽い気持ちで始めてみました。強面の人もい

るのでは、と警戒もしましたが、話してみると柔らかな人達ばかりでした。稽古は型をひたすら練習するのですが、間合の取り方等は相手がいなければ練習できないので、出来る限り稽古には参加するようにしています。重い病気を患いながらも稽古に参加している方もいて情熱を持って稽古する皆の姿が好きになりました。昔はもつと沢山の人が稽古をしていました。封建主義、軍国主義の時代の中で身を守る手段の一つに心眼流を選んだ人達が大勢いたからこそ、今の時代も残っています。苦しい時代を生きていた人達がいたことを伝えるためにも演武や保存会の活動をしています。とはいえ、私の技術は、納刀が正面にできるようになったと言われるくらい、まだまだです。

結びになりますが、この度、新生園に勤めることで貴重な経験や、素晴らしい出会いができて心から感謝しております。まだまだ経験不足の介護員ですが、未永く宜しくお願い致します。

よろしくお願ひします

看護助手 鹿野 千賀子

昨年の七月から第一メープルケアセンター一階で働かせて頂いております鹿野千賀子と申します。

私は栗原市の志波姫で三人兄弟の末っ子として生まれました。姉も兄も高校卒業後は、東京に行ったので私も東京に行くものと思っていました。しかし父が東京は絶対にダメだと言ひ出し、その後、東北ならいいという事になりました。そうすると仙台あたりに行くとな父は思っていたのでしようが、一番遠い所に行きたいと思ひ青森県にしました。このように安易に進路を決めてしまいました。

当時は高速道路も新幹線も盛岡まででした

具や家電も揃っていませんが少しずつ買っていくかと思つていきます。ずっと猫を飼いたいたいと思つていましたら、道端でうずくまつている子猫を見つけてしまい今は一緒に暮らしています。これからは庭作りをしたいと思つていきます。

まだまだ皆さんにご迷惑をかける事もあると思ひますが、いろいろと教えてもらいなから少しでも入所者さんの生活のお手伝いができるよふになりたいと思ひます。これからどうぞよろしくお願ひ致します。

ので実家との行き来が大変でしたが、海そばで魚介類も美味しく三十歳まで青森で過ごしました。こちらに帰ってくるこふになり、アルバイトをしながら仕事を探していましたが、ところ農協でヘルパー二級の講座があるとの事で申し込みました。当時、九十代の祖母と同居しており聴覚障害の叔父がいたことかから介護に興味を持ったのがきっかけでした。ヘルパー二級の講習を修了すると近くの介護施設で職員の募集があり入職しました。そこでデイサービスセンターも経験しましたが、主に認知症対応型高齢者施設のグループホームでこちらに来るまでの十三年ほど働いていました。グループホームでは職員と入所者が一緒に料理をしたり、畑仕事や花植え、散歩など日常生活をしながら介護を行う施設でした。仕事を辞め、実家からも引つ越すことになったか為、思い切つて自分の家を建てました。心機一転、一人暮らしを始めました。まだ家



よろしくお願ひします

看護助手 金澤 ひろみ

昨年の七月から第二メープルケアセンターでお世話になっております金澤ひろみと申します。

私の出身は登米市でも南三陸寄りの津山町という小さな町です。近くには横山不動尊という東北三十六不動尊霊場があり、自然豊かで自宅の前を流れる川には、天然記念物の「ウグイ」が泳ぐ姿を見ることが出来ます。

そういった環境で育ったせいか、あまり都会には憧れず、高校を卒業して某バス会社に就職し、選んだ勤務地は山形でした。山形に行って、まず驚いたのは、言葉でした。「あのよー」「んねず」「いいは」等々初めは、「私

何も悪いことしてないのに、何故怒られているんだろう」と、思っていました。でも一年も過ぎると、すっかり山形弁が板につき久しぶりに我が家に帰省した時は、「すっかり山形の人だっちゃ」と、母に笑われました。その後、母が体調を崩したのを期に、宮城に戻り数年は、自宅から通える迫町佐沼で、販売や接客の仕事をしておりました。その頃はまだ介護の仕事に就くということは考えてもいませんでした。きっかけは、視覚障害の伯父が九年前に脳梗塞で倒れたことでした。伯父は、私の父の弟で、私の父も視覚障害であることから、どうすることも出来ず、私に頼るしかなかったのです。

伯父は、兄弟で目が不自由のことを気にしており、「もし、自分が結婚して子供が出来た時、その子まで目が不自由だったら申し訳ないから、俺は一人で良いんだ」というのが口癖でした。視覚障害があり、脳梗塞の後遺

症で右側に片麻痺が残り正直に言うとう、絶望的な状態でした。病室で寝ている伯父を見ていた時に、一人の理学療法士の方に声を掛けられました。「明日からリハビリを開始するので良かったら見学に来ませんか」と、その時は、リハビリで少しでも良くなるの？という、半信半疑でした。見学に行くと、理学療法士さんは、介助方法を説明してくれたり、車椅子への移乗動作を教えてくださいました。そこからなるべくリハビリがある日は、伯父と一緒に参加させてもらい自宅復帰への目処が立ち、自宅へ戻ることが出来ました。自宅では当時中学一年生だった私の息子にも、協力してもらい介護することが出来ました。

ある日、伯父と父にどうせなら、介護の仕事をしたらどうだと勧められ、きちんと学んでみようという思いが芽生えました。資格を取り、佐沼の小規模のデイサービスに四年殆ど勤務しましたが、新生園の看護課の理念と、

自然に恵まれた環境を目にしたとき、こちらでお世話になりたいと思いました。入所している皆様や、ご指導して下さいている職員の方々には、ご迷惑をお掛けしていることが多々あると思いますが今後、どうぞ宜しくお願い致します。



A 入所者 B 看護師

B 今日では今日はね耳垢取りに来ました
都合はいかがですか
A はいお願いします
B それでは準備にかかりますから
ちよつと三日ばかりお待ち下さいね
すぐ来ますから
A そうですか、
三日では寝て待つております
では行つて参ります
A B 今日では耳垢取り毎日のように、身の
回りの、ケアしていただいております
B 他に何あったのですか、はいありました

A 今日ではね顔の髭剃りをしていただいたばかりなんです
B それでは良かったですね
A B 耳垢取りの準備に、三日はかからないとおっしゃいましたが
B 貴方と、お話している間に三日経ちました
A そうですか
浦島太郎の物語と同じですね
B 私ね浦島太郎の本読んだばかりなんです
A B それでは話の中に出るんですよ
B そうですか、はいわかりました
ちよつと待つて下さいね
B 忘れ物取りに行つて来ますから

A B すぐに三日経ちますから
A それでは三日ですね
B 待つております
A はい忘れ物持つて参りました
三日経つたでしょう
A 早かったですね
B 私腰かけている間に三日経つたのですね
耳垢取り始めましたよ
B 貴方の耳取り良いですね
奥の方まで見えてありました
A B こんなに大きい痛かったですね
はい少し痛かったですね
A 看護師さんその姿勢で窮屈でないですか
大丈夫です、窮屈でないです
B A それではお願いします
B ああ、ありますね、痛くしては申し訳ないから静かに取りますからね
A 私の耳は奥の方まで見えると言います
B 他の方も
B そうですか、どなたもそうおっしゃるの

A B ですか、それぞれ個人差がありますね
A B 耳垢でなく魚が取れるとええのにね
B 魚ならええのにね、この次は魚ですね
A 今日はこの辺で終わることにします
B お大事にね、ごきげんよう、さようなら
A ありがとうございます
B この次は青森県の、大間にまぐる取りに行きますか
A それは楽しみです
B 楽しみに待つて居て下さいね
○月○日
B 又来ました、今日はね検温、血圧計りと
A 日常の事です
B 体温三六・五度、血圧一〇九―六六です
A 私としては平常ですね
B そうですか、ごく普通で良かったですね
A 今朝はね、なかなか目が覚めなくてね
B ご飯食べましたか

A はいいただきました、おいしくね
B それなら結構です、私たちの仕事は皆さんの健康が良ければ良いのです
A そうですか私のように変わりものではないのですか

B 貴方はどこも変わってはおりませんよ
模範生まではいきませんけれど、ごく普通です
A 普通の人間ですか、ああ良かった

○月○日

A 看護師さん今朝の笑顔は素敵ですね
B どうしてですか
A コロコロ笑っていると言いたいでしょう
B 何か意味があるようですね
A コロコロと私のこと言ったでしょう
B そういふ顔してます
A そういふことになるのですか
B 私はそんな失礼なこと考えませんよ

B 思い過ごしでしょう
それなら良かった、貴方は良い人ですね
ではまたの機会を

○月○日

B この間の話、本気で聞きましたか
A どんな話でしたか
B コロコロ笑う話ですよ、
家に帰って考えて、Aさんは本気聞いたのかな、と思いましたが
A 私は思いませんよ
B 私だって同じですよ、コロコロはあの時はちょっと、言ってみただけですよ
A 看護師さん心に余裕があつて話を面白くして下さいますね
B いつも一本取られますね
A そうですか、一本ですか
B また一本取られた、看護師さんは、お面

A 取りの名人ですね
B 剣道のこの間ありましたよ
A どんなことですか

B 登米市出身の千葉さんという方お面取りの名人で、全日本選手権に三度も、優勝された方で、お亡くなりになったと、新聞に載ってました

B それでは私の故里はお面取りの名人の出所なんですか

A そのようですね
B こういふ話をしますと、子供達は真剣になつて聞いております、

A 子供は子供なりに
B そうですか、それは良かった
A 私が職場でどのようにしているのか、心配しているんですね
B 皆さんに可愛がって頂いてるのを喜んで聞いております

A 涙が出そうになります、私は
B 耳垢取りから話が発展しましたね

B 今度はまた新しい話を、見つけて参ります、話にカンナを掛けて、熨付けて参ります

A 長いお話ありがとうございます
B 熨付けて話弾ませ百合の花

詩

佐々木 洋 一 選



◇ 入 選 ◇

《朝顔の花》

今 野 きよし

食堂前の
プランターに
三本植えられ
朝顔の花
四つ咲いた

背を向けて
暗い方角
嫌なのか
明るい太陽
慕ってる
朝顔も暗い世に
背を向けて
明るい世の中
望んでる

花もやっぱり
無言の中に
平和な地球を
造りたく
訴えて

花の命を全うし
別の蕾に
意を託す

精一杯に
花咲かせ
花に気持ち
聞きたくて
朝のひととき
前に立つ

【選 評】

《朝顔の花》

今 野 きよし

朝顔の花に託す前向きな思いと朝顔の花から感
じた平和への願いが真つ直ぐに伝わってきます。
終練の「花に気持ちを／聞きたくて」の擬人のフ
レーズが生きている清々しい作品です。



短歌

皆川二郎選

◇ 入 選 ◇

歌に暮れ作句に暮れる日々なれど体調
良き日のやっぱり欲しい
今野 きよし

【選評】

短歌や俳句を日々詠んでいる作者ではあるが、それはあくまでも趣味の世界であり、心の健康を保つ手助けにはなっても体調をコントロールするまではいかないであろう。下の句に作者の素直な気持ちが見え、それが表白されて同感できる。

新任の耳鼻科の先生くばりの南部せんべい土産にいただく
今野 きよし

【選評】

新しく担当されることになった耳鼻科の先生が、土産に南部煎餅をお持ちになられたことが具体的に表現され、一気に親しみが湧いてきたのであるうか。これからの良い関係が思われる一首である。

体調の良き日に遊びにおいでよと耳鼻科の医師は真面目に話す
今野 きよし

【選評】

新しい担当医師の心遣いが具体的に表現されて、関係性が良いことに心が和む思いになります。作者は、日々の病と闘いながらもできるだけ明るく過ごしている様子

が思われます。これから春本番となり、体調の良い日に先生の大学に遊びに行かれる日が来ることを心から願っております。



◇ 佳 作 ◇

帰りがけ呼び止められて耳鼻科医は遊び
においでと再び話す
隣りのひと口汚しにと大師団子どんぶ
りいっぱい持ちてくれたり
好まざる食事の後のおむつ替え不安の
後に安心もある
今野 きよし

◇ 入 選 ◇

踏まれてもつくしんぼうに天があり
園 永 泊

【選評】

道路や野原などに生える杉菜、茎の先端に穂をつける胞子は風に飛ばされて仲間を増やす、踏まれても踏まれても季節の喜びは自然、真青な空の下に生きる喜びがある、天為あり

喜んで迎えてくれた犬ふぐり
今野 きよし

【選評】 早春の道端や堤などに群れて咲く瑠璃色の小さな花、他の草の出ぬうちにいち早く鮮やかな色彩が私を迎えて喜んでくれた犬ふぐり春告草ともいう人二重にも三重にも自然に感謝喜びの顔が見えて来る

ベランダに季節はずれの風鈴を
今野 モトイ

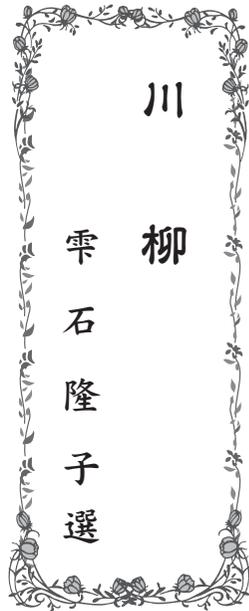
【選評】 南部風鈴だろうかそれともガラスの風鈴、季節はずれのだからガラスの風鈴と思われる、音色とかがるやかに雅の響き風の流れに乗りベランダからいや天空からの賜りも癒され季節がそこまで来ている

◇佳作◇

うすらえや追いかけて行くペンの先
百歳の姿で稲穂ごごむかな
大寒や今朝は沢音無口なり
園 永 泊

先生の眼ざしやさし菊日和
退院の言葉整うマスクかな
帰省せし旧道歩む冬紅葉
今野 きよし

桜咲き心うきうきしてそうろう
花見酒昔は寮友と飲み交わし
梅ようかんほおばり故郷忍びけり
斎藤 照雄



◇入選◇

《人位》
就活をアイロンがけで応援す
長沼 蓮花

【選評】 応援にもいろいろあるが、身支度のアイロンがけも立派な応援である。きつちりとした衣服で、ますます頑張る気持ちも生まれよう。

《地位》
病棟に令和の速報染み渡る
千 歩

【選評】 四月一日、たまたまエープリルフールだったが。真正正銘の菅幹事長が誇らしく「令和」を発表。国中に、そして病棟にも新元号の期待に沸いていたに違いない。国書から採られたことも嬉しいことだった。

《天位》
白旗を振らずひたすら八氏病道
斎藤 照雄

【選評】 「白旗を振る」は降参の譬え。作者は病に降参することなく、今日を迎えた。長い道程の果てに、病と向き合って五七五を編む。これからも健康であれ、と祈りたい。

◇ 佳 作 ◇

長 沼 蓮 花

新しい雨靴そろえ梅雨を待ち
朝来ても興奮冷めぬ初夜勤

千 歩

新しい子供見送る春が来る
朝刊をそつと差し出す老眼鏡
春帽子栄養補給の旅に出る

今 野 きよし

外泊も始めの夜は眠れない
雛祭り私淑女で母才女
褒め言葉言葉がすぎていさめられ

齋 藤 照 雄

母の背で何度も聞いた子守歌
スネの傷生きる証しだ気にするな

桜 山 南 仙

神経痛生きてきたかとチクリきた
バカだったなと山びこが地にもどり
正月を食わぬふりして体重計
沼凍り氷ちんもくあるばかり



いあいさし

看護助手 狩 野 幸 子

昨年の八月より第一メープルケアセンター
で、看護助手として勤務させて頂いておりま
す狩野幸子（かのさちこ）と申します。どう
ぞよろしくお願い致します。

出身は石巻市雄勝町です。目の前が海で、
子供の頃の夏休みは毎日泳いでいました。で
すが東日本大震災時の津波で、当時の面影は
消えてしまいました。寂しいですが、帰る度
に堤防や道路、学校が出来てきて少しずつ復
興してきているのを感じています。

高校は下宿をしながら仙台の学校へ通いま
した。部活はマンドリン部に入り、「パスト
ラルファンタジー」という幻想的な曲を定期

演奏会で発表するのを目標に活動していまし
たが、先輩達が引退してよいよ自分達の最
後の定演の曲が渡されて、急いで確認すると
目標にしてきた曲ではありませんでした。
ショックであきらめきれず先生を説得してな
んとか演奏できる事になり、夏の合宿などを
経てチームが一つになり、最後の定演を終え
る事が出来ました。先輩達や先生に「良かった
”感動した””と言ってもらえて、達成感
でいっぱいでした。あのエネルギーが懐かし
いです。

部活に関係するエピソードがもう一つあつ
て、部を創った先輩が結婚するというので、
会場のホテルでみんな演奏することになり
ました。青葉通りに面した、そのホテルの入
り口は回転ドア、入ると大理石の床。フロ
ント前ではパイロットやCAさんがチェックア
ウト、結婚式に参加する着物姿の方達など、
都会的で華やかな雰囲気こんな世界もある

のかと驚き、それは憧れに変わり、ここで働きたい！と強く思うようになりました。短大を出て、そのホテルに就職する事ができ、想いを叶えられました。

その後、出産で一旦仕事を離れ、主人の都合で山形市、栗原市、そして現在登米市に住んでいます。山形は山に囲まれた盆地なので、夏は暑く、冬は雪がものすごく降る所だなど思いました。ママ友ができ、電話すると「〇〇でした」と言うので「すみません」と言っ

て切ってしまいました。山形では名乗る時、でしたと言うそうです。登米でも面白い方言に出会いました。それは「おれさま」（お雷さま）。自分の事だと思いました。「たろし」（つらら）。昆虫の名前だと思いました。雄勝は濁点が多いのでかわいい呼び方だなど思いません。他にも何かあつたら教えて下さい。

震災を気に

看護助手 佐藤 次子

初めまして、昨年十一月から第一メープル二階でお世話になってる佐藤次子です。

生まれは、旧玉造郡岩出山町出身、栗原市一迫から通っています。東京オリンピック生まれ、文字通り次女です。私事ではありますが震災当日から現在までの事を書かせて頂きます。

あの時の事は、忘れる事はないでしょう。今でも思い出すと涙が出ます。経験した事のない長い揺れを感じたのは、前の職場（ハウス栽培）でラジオから流れた緊急地震を知らせる音でした。私はすぐ一緒に働いていた五人に伝え入口の戸を開け出しました。

が「笑顔」をモットーに一生懸命頑張りますので、ご指導宜しくお願いします。



しかし、みんなはハウス内の方が安全と思

い逃げず、私は外のアスファルトの上で年配の方と抱き合い、道が裂けて行くのをただ見ているだけで、地面にはいつくばっていました。あのハウスの骨組みの音「ガチャガチャ」という音は、聞きたくありません。安全を確認し合ってから社長の指示で「まず家へ戻りなさい。家族の安否を確認しなさい。」という言葉を頂き、ガタガタ震えながら運転した事を覚えてます。

職場に近かった両親の安全を確認し、でこぼこ道を避けながら自分の家は崩れていると思いつつ家へ戻る途中、家の外へ出て避難している方に、車の窓越しで申し訳なかったんですが声をかけ、大丈夫そうだったので家へ向かい、遠くから家の形が見えた時はホッとしました。

いて義父母の安全を確認、夫は仕事上震災が起きた際は帰れない事を知っていて、今しなければいけない事を家の安全を確認し、それぞれの配置につき、又、職場や区長の仕事へ向かい娘を連れハウスへ行き、作業を手伝い雪の降る中帰り、五人でストーブで暖を取りました。街灯の重要さをつくづく思いました。

夫が帰って来ない事は知っていましたが、あと一人、長女の安否がわからず心配していた時、暗い中ラジオをつけそこから流れてくる悲惨なニュースで、亡くなった人の名前が次々と読まれていく中、私は「娘の名前を読まないで」と心の中で思いながら情報も聞かなければ、しかし怖いし息子達は「お姉ちゃん大丈夫かなあ」とボソツと言う人で私は、「大丈夫だよ、今日は早番だから病院に居るよ。」とカレンダーを何回も見て確認しました。仕事を始めてから内陸地震もあり、スケジュールを茶の間のカレンダーに記入してい

たので、この勤務を信じて伝えました。でもラジオからの沢山の名前に、もしかしたらと考えるついで、「電池がなくなるから、止めるよ。」と。でも違うんです、娘の名前が読まれるのが怖かったんです。

時々、家の様子を心配して見に来てくれる夫の顔を見るのが唯一、ホッとする瞬間です。

長女は、被災地で頑張っていたようです。数日後に娘から携帯電話に連絡が入り「大丈夫だよ」と一言。「もうちょつとしたら家に帰るから、少しだけ」と声を聞いた時は、涙が止まりませんでした。とんぼ返りでしたが無事な姿を見た時は、つい抱き合って喜びました。

沿岸の方々や家を失くされた方から比べれば、私達は幸せだとつくづく思います。毎年迎える3・11を無事に迎えられる事を噛み締めながら生活しなければと感じています。

これを気に人との繋がりを大事にしたい今

回、新生園様にお世話になる事になりました。最近は入居者様から介助が終ると「ありがとね、またね、気をつけて帰ってね」と温かい言葉を頂き毎回感動しております。この言葉を励みにお役に立てる様、楽しい生活を送って頂ける様、精一杯頑張つて行きます。

色々、ご迷惑をかけるかと思いますが、宜しくお願い致します。



宜しく願ひします

看護助手 佐竹 澄江

東北新生園の入所者、スタッフの皆様平成三十年十二月一日より採用になり、お世話になっております。

メープルケアセンター・二階の一階で介護員として、働かせて頂いております、佐竹澄江と申します。

私は、町内のはずれの森地区から通勤しております。

家の周辺は、水の里ホール、登米市消防本部、三陸自動車道登米インターへも近く、商業施設などとても充実していて住む所にはとても便利な所です。また、迫川が近くに流れ冬には白鳥など渡り鳥が飛来し田園風景が広がり

緑も豊かです。

さて、少し私の出身地などを紹介させて頂きたいと思ひます。出身は、東北新生園の近くの新田の飯島という所です。

小さい頃よりこちらの園のことは知っていた、たまに園の行事などがある時訪れていたこと思い出します。行事といえば、さつき祭りなど、何回かお邪魔し、入園の方が明るく応答していたことなど浮かんできます。

また私が幼少の頃などは、こちらの園の入所者の方が、春の忙しい農繁期に苗取り、田植えなどに、家や近所に来て農作業を手伝って頂き助けて頂いたことなど色々頭をよぎり、懐かしく思ひます。

私は、専業農家に嫁いで、施設キュウリ、田んぼ、養豚などを営んでいました。

子供達も、大学を卒業し、自立したのをきっかけに、田んぼだけに規模を縮小し、外へ働きに行くことになりました。

ここに、お世話になる前は、大型スーパーに勤め、人と接することの大切さなど学ばせていただきました。そこで、これから自分が働けるうちに、少しでも人の何かの手助けが出来る仕事をしてみたいと思ひ、こちらで働かせていただきました。また、幼少の頃こちらの入所者の方と接したことを思い出し、働こうと思ひました。

こういう仕事は、経験したことがなく大変不安でしたが、入所者の方、スタッフの方に毎日大変迷惑をおかけしていると思ひますが皆さんのあたたかい声掛けにより、日々努力していきたいと思っております。

元気だけはあります。どうか長い目で見守りよろしくお願ひします。



令和



北村 小蝶





離任式

平成31年3月29日

